

# 「リコー ビンタンの森」 現地業務報告

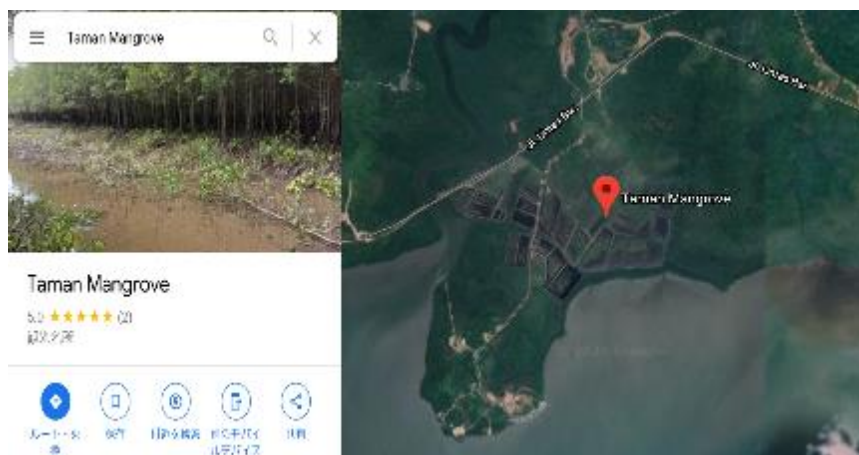
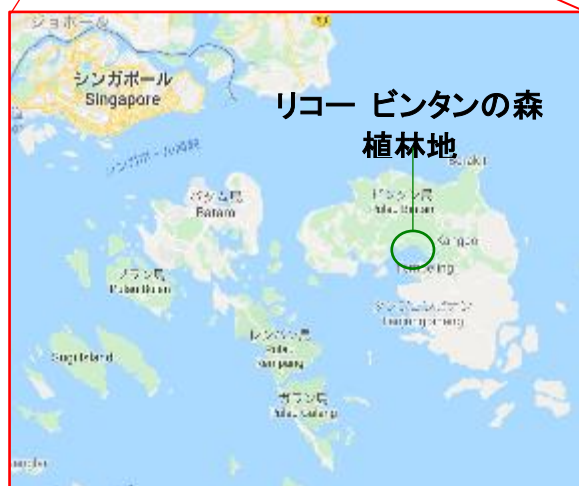
2023年3月（第8回目報告）

ワイエルフォレスト株式会社

# 1. 植林現場情報

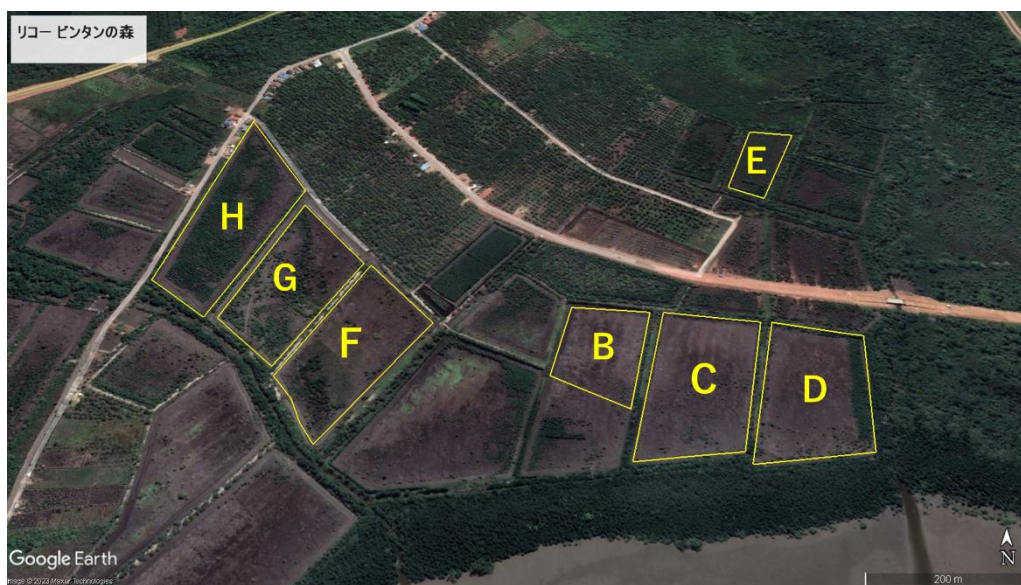
植林現場は、ビンタン島中央部にあるペナガ海峡に面した沿岸域に位置します。

プロジェクト名	「リコー ビンタンの森」
植林現場	リアウ諸島州ビンタン島ペナガ Penaga, Teluk Bintan, Bintan Regency, Riau Islands
GPS 情報	1° 03'27.5"N 104° 25'43.1"E GoogleMap ; ( <a href="https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7">https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7</a> )
面積	約 23.66 ヘクタール (236,663 m <sup>2</sup> )
土地	養殖池跡地を対象とする。 土地を所有する住民と YLF が提携し事業実施。 現場管理者：アディ氏



上記表中に記載の GoogleMap の URL(<https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7>)から、以下の地図が開きます。

植林現場は、7つに区画分けされた養殖池跡地で合計約 23.66 ヘクタールあり、各々の池面積は以下の表の通りです。



植林地番号	平方メートル(m <sup>2</sup> )	ヘクタール(ha)
B	20,813	2.0813
C	37,682	3.7682
D	34,783	3.4783
E	13,400	1.3400
F	36,300	3.6300
G	38,000	3.8000
H	55,685	5.5685
合計	236,663	23.6663

現在までの「リコー ビンタンの森」植林実績としましては、

- ・ 2019 年度合計：10,000 本
- ・ 2020 年度合計：72,252 本
- ・ 2021 年度合計：56,923 本
- ・ 2022 年度合計：34,004 本

累計植林本数は、173,179 本となっております。

## 第7回目植林の様子

### 植林地 H

前回までの植林活動にて植林地 B、C、D、E、F、G 植林地での植林が完了致しましたので、2023年3月の第7回目の植林活動では新たに植林地 H をご用意させて頂き、4,004本の植林を実施致しました。2022年度植林は合計 34,004本となり、「リコー ビンタンの森」植林本数は、累計 173,179本となっております。



3月12日に植林を行ったマングローブ



今回の 4,004本を植林しています。





アディ氏（現場管理者/マングローブ愛好家リーダー）とマングローブ愛好家のメンバー。

## 現地視察報告

### 植林地 B

植林地 B は第 1 回目（2020 年 3 月）及び第 2 回目（2020 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。現在、植林実施から 2 年 6 カ月～3 年程度が経過しております。

2020 年 3 月に植林したマングローブの樹高は、現場管理者のアディ氏の背丈と同等の高さまで成長しています。また、ほとんどのマングローブにタコ足状の支柱根が生え、枝を伸ばし葉を多くつけています。



植林地 B の北側のあぜ道から撮影。



植林地 B の西側のあぜ道から撮影。



あぜ道から植林地Bの植林エリアに渡る橋。橋の下は養殖用の水路となっており、1 m程度の深さがあります。



第一回目の2020年3月に植林したマングローブの樹高は、管理者のアディ氏の背丈と同程度まで成長しています。



タコ足状の支柱根が生え、枝葉も多くつけています。マングローブらしい樹形に成長しています。



植林したマングローブがきれいに並んでおり、抜け落ちている部分がないことから、補植・管理がしっかりと行われていることがわかります。

## 植林地 C

植林地 C は第 2 回目（2020 年 9 月）及び第 3 回目（2021 年 3 月）の植林活動にて植林を行っております。植林後 2 年～2 年 6 カ月が経過しています。マングローブの樹高は管理者アディ氏の腰の高さ程度まで成長しており、支柱根を生やし始めたマングローブも見受けられました。



植林地 C の北側のあぜ道から撮影



植林地 C の北側のあぜ道から撮影



あぜ道から植林地 C の植林エリアに渡る橋。



植林地 C のマングローブ。



アディ氏の腰の高さまで樹高が伸びています。



支柱根が出始めているマングローブも見受けられます。

## 植林地 D

植林地 D は第 3 回目（2021 年 3 月）及び第 4 回目（2021 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。植林後、1 年 6 カ月～2 年が経過しています。

今回、植林エリアに渡る橋が浸水していたため、植林したマングローブを近くで確認することはできませんでしたが、植林地 D の西側のあぜ道から確認を行っています。遠くから撮影しているため、写真ではよく見えませんが、葉も増え順調に成長しています。

前回 2022 年 9 月の視察時に下草が気になっていましたが、既の下草よりも樹高が高くなり、植林したマングローブの葉は下草よりも上に出ていました。葉に十分に日光が当たる環境になっているため、今後の成長にも支障はないと言えます。



植林地 D の西側のあぜ道から撮影



植林地 D の西側のあぜ道から撮影

## 植林地 E

植林地 E は第 4 回目（2021 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。現在、植林後 1 年 6 カ月が経過しています。視察途中で潮が満ちてきたため、植林エリアに渡る橋が浸水してしまい、植林エリアに上陸することはできませんでしたので、南側のあぜ道から確認を行っています。



植林地 E の南側のあぜ道から撮影



植林したマングローブが列状に並んでおり、抜け落ちている部分も見られません。





前回視察より、葉の数が多くなっています。



枝も出始めており、樹冠部分が大きくなっています。

### 植林地 F

植林地 F は第 5 回目（2022 年 3 月）の植林活動にて植林を行っております。現在、植林後 1 年が経過しています。

植林地 F はインドネシア政府がコロナ禍に対する住民支援の一環として数年前にマングローブ植林を行ったものの、手入れや管理はされずに放置されたマングローブが残っておりますがアディ氏は「せっかく植えたマングローブを枯らしてしまうのはもったいない」と言い、現在もそれらのマングローブも「リコー ビンタンの森」と一緒に管理していただいている状況です。



植林地 F の北東側のあぜ道から撮影。



植林したマングローブが水面に映り込み、成長し葉をつけている様子がうかがえます。



6~8 対 (12~16 枚) の葉をつけています。



### 植林地 G

植林地 G は第 6 回目 (2022 年 9 月) の植林活動にて植林を行っております。植林後 6 カ月が経過しています。植林地 G でも植林地 F 同様にインドネシア政府の新型コロナに対する支援により植林され放置されたマングローブが残存していますが、この取り残されたマングローブもアディ氏の意向により「リコー ビンタンの森」として一緒に管理していきます。

前回は報告では、植林直後であったため双葉が出たばかりでしたが、今回の視察では、3対~4対（6枚~8枚）の葉をつけていました。

